

別添：原子力学会誌「ATOMOS」連載講座について

国枝 賢 (JAEA)、3/28/2016

原子力学会事務局から当部会に対して原子力学会誌「ATOMOS」連載講座の執筆掲載に関して打診があった。当部会運営委員会において検討を行った結果、下記の理由により引き受けることを決定した。

- － 核データ研究の意義を広く理解してもらうためのチャンスである。
- － 学生へ核データ研究の魅力を伝える絶好の機会である。

下記の内容により、来年度夏ごろから計8回を予定。

第1回 「多様化する原子核工学と核データのニーズ (仮)」

須山賢也、深堀智生、国枝賢 (JAEA)、千葉豪 (北大)

- 1) 核データとは何か
- 2) 核データはどのように使われるか
- 3) 核データライブラリについて
- 4) 多様化する原子力と核データ
- 5) 結び (+本連載講座の全体像)

第2回 「国内施設における中性子核データの測定、そして理論とのシナジーを目指して (仮)」

木村敦、原田秀郎、国枝賢 (JAEA)、片淵竜也 (東工大)

- 1) 核データ測定の必要性
- 2) 国内の実験装置の現状と測定例・今後の展望
- 3) 共鳴理論による評価
- 4) まとめ

第3回 「核分裂データの最前線：実験と理論」

西尾勝久 (JAEA)、千葉敏 (東工大)

- 1) 核分裂と核データ
- 2) 新規測定技術と実験データ
- 3) 核分裂理論の進展
- 4) 課題と将来への展望

第4回 「核図表 – 壮大なる原子核の地形図 – (仮)」

小浦寛之、飯村秀紀、湊太志 (JAEA)

- 1) はじめに
- 2) 核図表
- 3) 核構造・核崩壊データ
- 4) 原子核フロンティア
- 5) 宇宙核物理
- 6) 「核図表」の普及活動

第5回 「高エネルギー領域への挑戦 (仮)」

執行信寛 (九大)、岩元洋介 (JAEA)、・・・

- 1) RCNP, HIMAC での測定
- 2) PHITS 内核反応モデルの進化
- 3) DPA 断面積測定
- 4) ADS 研究との関わり

第6回 「IAEA の核データ事業」

大塚直彦 (IAEA)、河野俊彦 (LANL)、大澤孝明 (元・近大)、国枝賢 (JAEA)

- 1) 歴史と背景
- 2) 実験核データ収集事業 (EXFOR)
- 3) 評価済核データ整備事業 (CRP)
- 4) 核データ配布・教育事業
- 5) 終わりに

第7回 「核データの利用のために - ミクロからマクロへの橋渡し - (仮)」

多田健一、今野力、横山賢治 (JAEA)、小迫和明 (清水建設)

- 1) 核データ処理とは
- 2) 核データ処理の現状と今後の展望
- 3) 核データの検証

第8回 「核データライブラリ JENDL の進化」

岩本修、柴田恵一、岩本信之 (JAEA)、千葉豪 (北大)

- 1) 汎用ライブラリの変遷と JENDL-4.0
- 2) 特殊目的ファイルの最近の進展
- 3) 核データライブラリーの国際状況
- 4) JENDL の展望と核データ研究 (連載講座の結びに代えて)

(執筆者敬称略、また下線は各回のリーダー)

以上、